

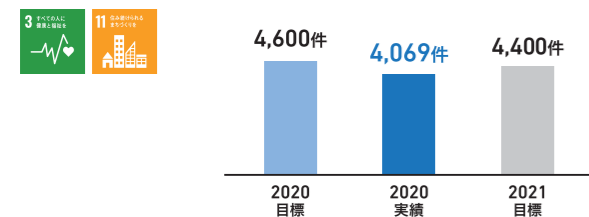
中期経営計画 2020～2022の達成状況

阪神高速グループは、2020年4月に「中期経営計画(2020～2022)」を策定しました。2020年度は、本計画の確実な達成に向けた初年度として、重要テーマに即した各施策を着実に推進しました。今後とも、経営環境の変化に対応し、お客さま満足の実現と関西のくらしや経済の発展に貢献すべく、さまざまな施策に取り組んでまいります。

重要テーマ 1

交通事故件数

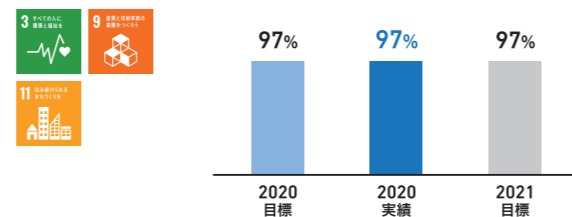
4,069件



快適走行路面率

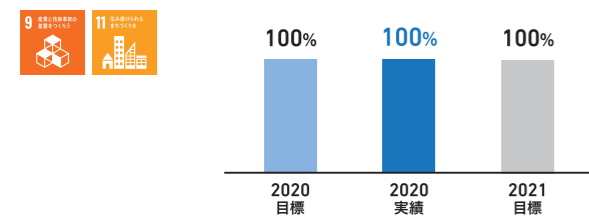
(良好な走行路面の割合) ※1

97%



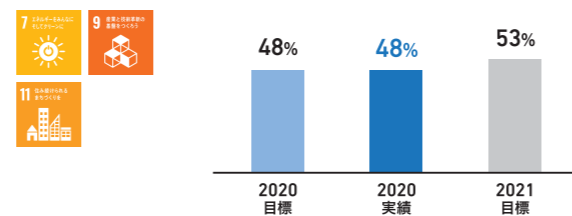
機能低下があり、対策を要する損傷の補修率 ※2

100%



道路照明LED化率 (本線照明)

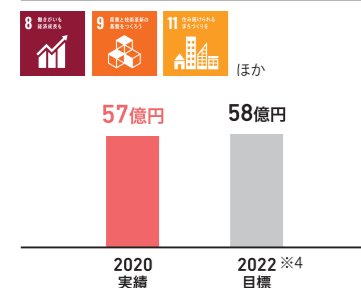
48%



重要テーマ 4

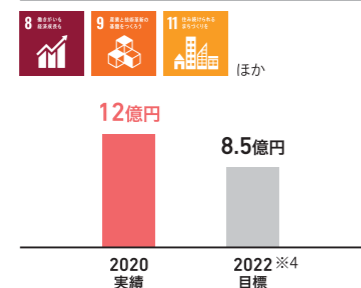
関連事業の 営業収益(連結)

57億円



関連事業の 営業利益(連結)

12億円

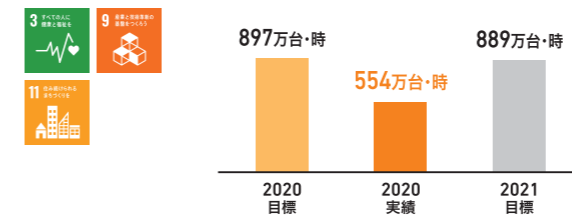


LED道路照明

重要テーマ 2

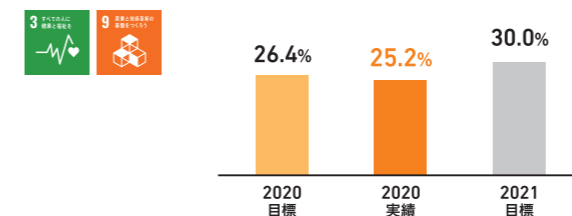
年間総渋滞損失時間 ※3

554万台・時



ETC2.0利用率

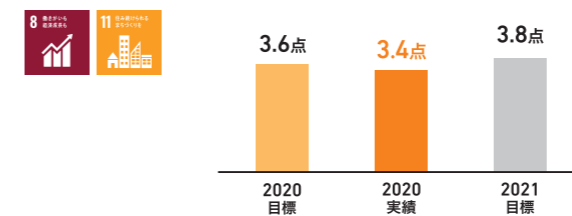
25.2%



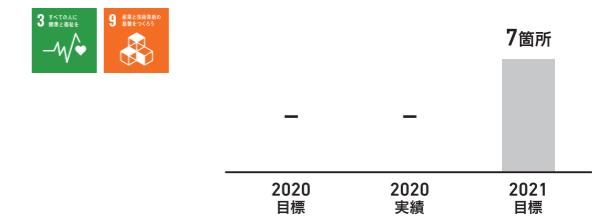
パーキングエリア数や 設置箇所

お客さま満足度(5点満点評価)

3.4点



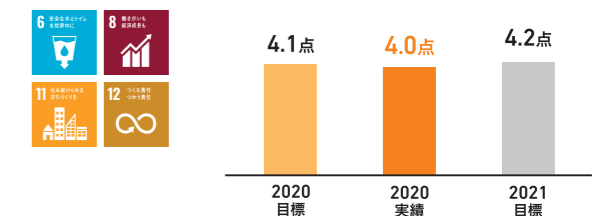
ETCお知らせアンテナ設置



各パーキングエリア の提供サービス

お客さま満足度(5点満点評価)

4.0点

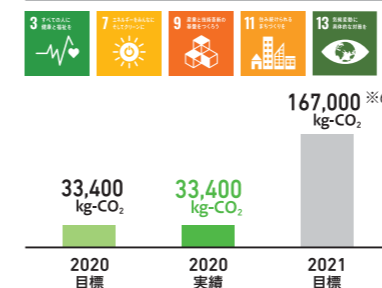


泉大津パーキングエリア(陸側)

重要テーマ 5

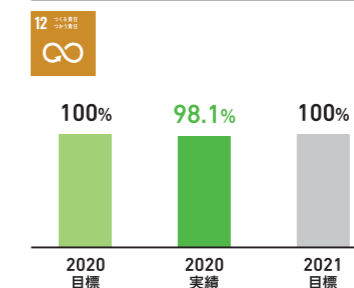
本線道路照明LED化によるCO₂排出の抑制量 ※5

33,400 kg-CO₂



特定調達物品に おけるグリーン調達率

98.1%

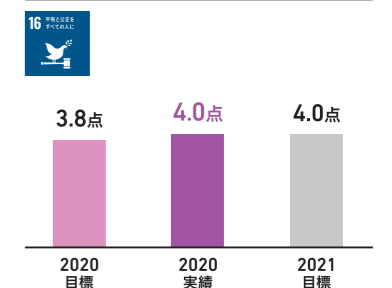


重要テーマ 6

お客さま満足度

5点満点評価

4.0点



※1 快適に走行できる舗装路面の車線延長+全車線延長

※2 損傷の補修率=(当該年度における修繕完了件数)/(当該年度計画上の修繕予定件数)(%)

※3 渋滞が発生し走行速度が低下することによりお客さまが1年間に損失した時間の総和

※4 2022年度目標値

※5 CO₂排出の抑制量は、関西電力株式会社2018年度調整後排出係数(0.334)に固定して算出

※6 2020年からの2カ年の施策による効果